



地本役員の仕事体制



九月九日に第五十八回定期地方大会が開催され、今後一年間の闘う方針が確立されました。役員の仕事分担は以下の通り決定しました。

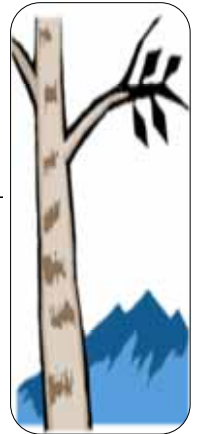
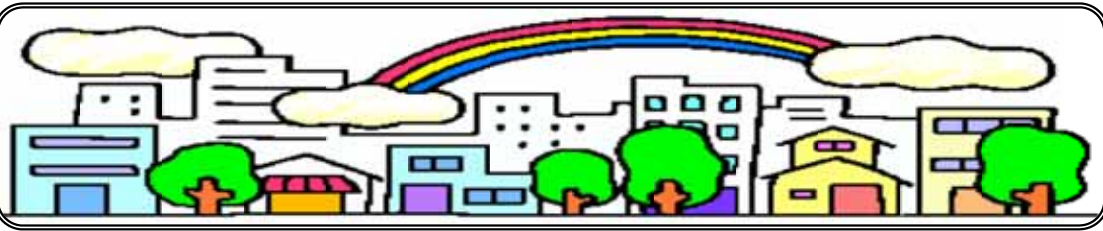


NO. 581
発行
06・10月27日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

執行委員長	守橋久仁雄 (57歳)	総括・県春闘共闘	(新津運輸区)
執行副委員長	加藤 荘一 (55歳)	共闘・法対・共済	(新津運輸区)
書記長	関川 和彦 (53歳)	企画・組織・貨物	(新潟臨海サービス 長岡事業所)

執行委員	田澤 忍 (48歳)	業務	(新潟新幹線車両センター)
	山田 久 (50歳)	財政・総務	(新潟運輸区)
	藤井 明人 (47歳)	教宣・レク	(東新潟機関区)
	石川 忠雄 (46歳)	組織・調査・青年部	(新津駅)
闘争委員	野村 正三 (56歳)	業務・調査	

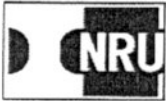
会計監査委員	細川 興英 (58歳)	(新津車両製作所)
	五十嵐利幸 (51歳)	(新潟メンテナンスセンター)
	鷲尾 太郎 (46歳)	(長岡運輸区)



『公共交通の安全を問う新潟集会』



日時・11月23日13時から
場所・新潟市『トークイン新潟』



国労さかた

国鉄労働組合酒田支部

06年10月14日

教宣部

「秋元勝ったぞ」と一日も早く言いたい

まず、夏期物販は、組合員と退職者組合員合計で、21万4600円でした。退職者でいつも多く買っていただいている海藤さんから、今年は6万1000円を買ってもらいました。組合員一人あたりの平均は五七〇〇円でした。また、庄内地区全体で

国鉄闘争、今大事な時期にさしかかっています。「新たな訴訟」はどのようなものか。この20年間不当な組合差別を受け、名誉と人権を侵害され、たたかい続けている闘争団「R」になって一度も制服に手を通したことがない仲間のために、年末物販に対し全ての組合員に、次のように協力を訴えます。

年末物販 全組合員一日参加を 十一月二十七から二十九日鶴岡市職で

は、47万7000円でした。昨年夏に秋元オルグが亡くなり、2回目のカタログ物販でしたが、カタログ物販としては成果があったと思います。皆さんのご協力に感謝を申し上げます。

さて、夏に鶴岡市職を伺った時に、「カタ

ログでは伸びない、何とかオルグをしながら、直接物販を闘争さんでできないか」という話がありました。しかも「市職で30万円あらかじめ買うから、売ってくれ」という内容でした。支部の執行委員会は議論しました。いろいろありましたが、「3日間2



た。この年末物販は今年の最後の大きなたたかいです。全ての組合員協力を訴えます。そして志半ばで亡くなった秋元氏に闘いの勝利報告できるように、この取り組みを成功させよう。

人2組だったら、みんなの協力があればできるんじゃないか」ということになりました。日時は、11月27日から29日です。この期間、休日を1日参加してください、休日にあたっていない人は年休を取ってほしいと思います。

憲法改悪阻止
山形県集会
10月21日
13時30分
山形霞城公園

皆さんありがとうございました

夏期物販

庄内地区で 477330円



酒田支部では

	人	合計	平均
組合員	16	90650	5700
退職組合	14	115900	8300
一般	2	8050	4025

全ての組合員の協力を訴えます

今年はいなほ転覆事故、春闘学習会、全国キャラバン、夏期物販、「五十川あつみ駅間の土砂崩れ」とたたかいと対応をしてきまし

「教育基本法」学習講演会

日時 10月22日13時30分
場所 若浜コミセン
講師 奈良達雄 氏
主催 実行委員会

* まず私たちが理解することが大事です

編集後記

今回は酒田支部の機関紙『国労さかた』を載せました。各支部・各職場でなかなか機関紙が発行がされていません。

編集委員会体制や通信委員制度など状況が具体的に進んでいないと思います。なぜ発行できないのか・どこに原因があるのか。

今年度は、昨年、実現できなかった『機関紙講座』を開催し各支部の活動など交流しながら、機関紙づくりについて学習していきたいと思えます。

『機関紙講座』の企画など、各支部・分会で要望・要求がありましたら、地本教宣部までFAX・メールなどお寄せください。

日程は、春闘前段を考えています。

